広報かじき

No.250
昭和51年 4

発行／加治木町
編集／総務課

印刷　吉屋印刷有限会社

春おそし一(ひと)月
おくれのひなじょかな

西別府　西村照夫さん宅

■メモ　人口／20,811　男／9,849　女／10,962　世帯／6,577　(51年3月1日現在)

行財政の健全化をはかりたい

＝町長の施政方針＝

51年度当初予算

一般会計 16億3千230万円

三月十二日に開かれた昭和五十一年、第一回定例町議会で、東町長は「財政の健全化、住民生活関連施設、都市計画事業、広域市町村圏、教育施設の整備を推進することとした」所信表明を行った。施政方針の要旨は次のとおり。

第1回定例町議会本会議場

▼町政の実態とその方向▲

わが加治木町の実態をみてみたいと思います。先ず道路交通面でございますが縦貫道もインター空港間は基礎工事が終りまして舗装架橋工事も十一月には完工、そして開通の見通しであります。なお一〇号バイパスも完成、開通を見ましたし、港湾施設もその殆んどが整備されました。

広域消防にいたしましても内容と陣容が整備がなされ、広域衛生につきましては吉田町に焼却場の設置も漸く地権者等の同意も得られまして、今年度から五十一、五十二年度の継続事業として着手することとなっております。

本町の道路整備につきましては改良舗装も相当に進展をみました。

都市排水につきましても多くの問題箇所が整備されました。

住宅供給公社の小鳥神社付近仮称二号団地の九百戸住宅建設につきましては、地権者と積極的な話し合いが進められているわけであります。

十三塚原畑作総合土地改良事業も加治木、溝辺、隼人三町の農地一千ヘクタールを対象に事業に着手、三月十一日には通常総代会が開催され、いよいよ八十一億円の大事業が軌道に乗ったわけであります。

又、鹿児島、宮崎両県の沿線市町村で結成しております日豊線電化複線化促進期成会の、それに関係住民の多年の宿願でありました電化工事の着工式が去る三月二日都城市五十市駅で挙行されました。昭和五十四年が開業の予定でありますが、次は鹿児島都市圏の拡大に伴いまして先ず国分までの速かな複線の実現が期待されるわけであります。

▼町の実態と方向▲

本町の総人口は、五十年十月一日現在で二万六百十人で、前回の国勢調査が行われた昭和四十五年当時に比べると千八百九十四人（一〇・一パーセント）の増となり、更に漸次伸びを示しておるわけであります。

県内市町村での総人口段階では、西之表市、末吉町に次いで十八位となっております。

一方世帯数は、六千五百三十二世帯で前回の四十五年に比べて八百四十五世帯増となり、一世帯当りの平均世帯人員は三・一六人で年々減少する傾向にあります。

また、昭和五十年五月一日現在の教育統計によりますと、小学校の児童数は千七百八十六人で、前年に比較して六人増加しており、中学校の生徒数は九百十人で、六十三人減少いたしております。進学者三百二十七名で進学率は九三・七パーセントと県内でも高い進学率を示しており、就職者は十三名で殆んどが県外に就職をしています。

昭和五十年二月一日現在の農家数は千七百三十六戸で前回の昭和四十五年の農業センサスの結果と比較いたしますと三百八十八戸減専業農家は四百十一戸で前回の四十五年に比べ二百十九戸減。一種兼業農家は三百四十戸で百九十三戸減。二種兼業農家は九百八十五戸で二十四戸増加。専業、一種兼業から二種兼業への移行が見られるわけであります。

経営規模別にみますというと一ヘクタール未満の農家が千五百九十九戸で全体の九二・一パーセントを占めており、一ヘクタール以上の農家が百三十七戸となっております。

二年毎に行われる商業統計調査の結果によりますと昭和四十九年五月一日現在の飲食店を含む商店数は昭和四十九年五月一日で四百三十四店、前回に比較して二十一店増加、従業員数千六百十六人で百二十六人の増となっております。

一年間の商品販売額は百七億二百四十一万円で前回に比べ六六パーセントと大巾な伸びを示し、県内では大口市に次いで十三位という位置にあります。

また、製造業は工業統計調査の結果、昭和四十九年十二月三十一日現在で四十七工場となり、前年に比較して一事業所減少いたして

おります。従業者数は八百三人で三十七人の減であります。一方四十九年一年間の製造品の出荷額は七十六億三千八百六十二万円で、前年に比べ七・三パーセント増加しております。

町の経済活動によって生み出された昭和四十九年度の町内純生産は百三十九億六千七百十七万円と推定されます。これは前年に比べて二〇・三パーセントとゆるやかな伸びになっております。

町民所得は、百三十七億六千百九十二万円で前年に比べ一九・〇パーセントの伸びが見込まれます。町民一人当りの所得で見ますと六十八万五千五百二十五円で前年に比較しまして一七・二パーセント伸びとなっております。

このような町政の実態でありますが住民の皆さんは無論、議会の皆様方もいろいろと困難に堪えご努力いただき、町政に直接、間接にご貢献をいただいたわけでございますが、その成果がかような実績にもなっていると存ずるわけであります。これらのご努力とご協力に対して心から感謝申上げたいと思います。

▼町の予算▲

さて、昭和五十一年度の本町の予算編成にあたりましては、先程申上げました町の実態なり、国の経済事情や予算編成方針にのっとり、且つ議会よりの町政に対する申入れや町民からの要望等にそうよう十分検討いたした次第であります。

何分にも高度経済成長から安定経済に転換して深刻な不況の中での、きびしい地方財政のもとでは意のごとくならず、まことに心苦しく存じておる次第であります。

私といたしましては、申し入れや切実な要望に対し応えるため、更には明るく清潔で住みよい町の建設を目指し、予算編成の基本方針を出したわけであります。

施政説明の東町長

即ち、予算編成の基調といたしましては財政健全化の促進をはかることを前提といたしまして、住民からの行政需要に配慮を加えながら、本町の今後の進むべき方向を策定するとともに国や県の方針等も併せ配慮して、地域社会の基盤強化の計画を図っていくこととといたしました。

主な事項としては

■行財政健全化であります。

(1)積極的な財源の充実確保

(2)行財政運営の改善

■地域社会の基盤強化のための計画的促進であります。

(1)住民生活関連施設の計画的整備

(2)都市計画事業の計画的整備

(3)広域市町村圏の振興整備

(4)教育施設の計画的整備

を推進することとした次第でございます。

申上げるまでもございませんが行財政を健全化する道は、一つは積極的な財源の充実確保であり、今一つは、行財政運営の改善であると思うわけであります。その意味で、このことを今後の町政における重要な課題であると考えたわけであります。

また、町民がひとしく町政に期待することは、豊かで生きがいのある郷土の建設を達成することであろうと思われますが、その具体的な内容は、生活関連施設の整備即ち都市計画事業あるいは耕地事業、その他で行います道路の改良補修舗装、都市排水、学校整備、交通安全施設、土地改良事業等大変範囲が広範であります。

これが実施については、計画的整備を進める以外に適切な方法はないと存ずる次第でありますが、これを基本的な考え方といたしまして、最大可能な限り現状を打開してまいる所存でございます。

更にまた、農林、福祉、社会体育や団体育成の面におきましても国や県の施策に合せ、本町の実状を勘案しながら施策を進めて参りたいと考えました。

そして、昭和五十一年度一般会計の当初は十六億三千二百三十万円の予算を計上いたしたわけであります。前年に対しまして、三億三十万円の増で二二・五パーセントの伸びであります。

（原　文）

▼歳出予算の内容説明▲

五十一年度の一般会計歳出予算総額は十六億三千二百三十万円でこれを性質別に大別すると、次のとおりです。

人件費	五億七、六〇一万円
物件費	二億四、四三一万円
扶助費	一億二、二九〇万円
公債費	一億三、九四三万円
補助費	一億五、三四三万円
投資及び出資金	七九七万円
繰出金	二三七万円
普通建設事業費	三億〇、七八六万円
失業対策事業費	四、九七一万円
災害復旧費	八三六万円

□議会費

四千十三万八千円を計上、前年比で二・七パーセントの増、これは主に人件費や物件費です。

□総務費

二億四千七百九十一万八千円を計上、前年度より一一・二パーセントの伸びで主に三役並びに総務、企画、住民、税務課及び選管、監査の職員と関係各種委員の人件費や委託料の一千八百二十八万円。

また新しく共済負担金の追加費用分八百九十万円、衆議院議員の選挙費百六十万五千円。

□民生費

三億一千六百八十万五千円を計上、前年度より三一・七パーセントの伸び社会福祉の充実は、時代の強い要請であり従って国、地方を問わず大きな行政課題であると考えております。年金制度の改善、福祉に関する基盤整備等国の施策を待って対応していかなければならないと考えており、とりあえず敬老年金や父子世帯児童扶養手当、各種福祉団体への補助金の増額を考え老人医療費一千四百二十九万六千円。国民年金印紙購入費三千六百四十二万九千円など。

□衛生費

七千六百四十二万二千円を計上前年度より六百九十四万円の増で約一〇パーセントの伸び、主なものは西部衛生処理組合（火葬場、塵芥、し

↑次頁へ

前頁より

尿処理）の負担金や霧島伝染病棟組合負担金など。公衆浴場費七百十九万円。

□**労働費**

六千八十一万八千円を計上。前年度より六百十二万七千円の増。これは就労者の賃金改訂や原材料費、ダンプ一台の購入費等。事業計画としては、コンクリート舗装工事として中郷徳永線外2線、乳剤舗装工事としては湯之谷線（縦貫道側道）の一、一五〇㍍。排水溝整備工事は一号線外8件、防塵舗装工事では柁城小北線外18件延長約六千㍍を施工。

□**農林水産業費**

一億二千九百六十七万三千円を計上。前年度より二千四百八十一万七千円の増で二三・六㌫の伸び。農林振興については、林業構造改善事業の推進に努力したい。農業振興費では助成補助等が主で、新しくたばこ振興育成補助金としてわずかではあるが十万円。これは年々減少しつつある耕作者のたばこの品質をあげるための乾燥室の改善補助。地籍調査費は前年度より二百万一千円の減。これは本事業が殆んど完了したための減。

農地費は前年度に対し二百九十四万六千円の減、これは須崎かんがい排水工事等の減によるもの。八坂地区の県単土地改良区事業費五百万円。畜産事業費として新しく飼料増産総合対策事業を導入、補助金四百六十万円。農家総合指導活動事業も昨年に引き続き実施団体営農道舗装費一千四百二十四万九千円。これは竜門地区農道舗装。団体営農道整備費一千三百九十五万二千円、これは川床地区橋梁下部工事とその取付け道路や公有財産購入費など。

林業費二千七百七十六万一千円を計上、主なものとして前年度に引き続き林業構造改善事業、毛上から高井田に通ずる林道。第二次林業構造改善事業費。

□**商工費**

前年度に比較して八十万八千円の減。これは職員の配置替えに伴う義務的経費の減や国道路傍植栽委託料の必然減。商工振興については、次代を背負う商工青年の研修のための経営研究会、従業員研修会、夏祭り大会補助などわずかに増額。

□**土木費**

二億八千九百八十七万六千円を計上。前年度に比較して一億三千百四十七万二千円の増で、約八三㌫の伸び。これは景気回復型の国の予算措置が講ぜられたための公共事業の促進策によるもの。

主な事業として岩原北線改良工事や町道の暗渠、測溝の改良維持工事及び補修用資材費等に七百二十五万円、道路新設改良費として西別府線延長工事、土地購入費等二千百万円、交通安全施設事業として駅前大通り線の歩道舗装三千百七十四万円。西別府線、女学校通線外の道路舗装として八百万円橋梁の新設改良は、口ノ町湯之谷線の鳥越橋、汐入線山毛溝橋、縦貫道側道の中野長谷橋を計画し二千万円。

都市計画事業費は六千九百三十三万三千円を計上、木田本通線新設事業に六千六百三十万円おもに用地購入及び家屋移転補償費など公園費として高岡公園整備事業の運動広場の整地費に一千十一万六千円。町営住宅管理費一千七百七万四千円、測溝排水工事費や資材費等四百五十万円、東蔵王団地に中層四階建二種十六戸を計画、工事費、敷地購入費など九千四百万二千円。

□**消防費**

七千七十万四千円を計上、前年度より約六㌫増、主なものは姶良西部消防組合分賦金四千八百五十六万円、非常備消防費として団員の報酬や手当、防火水槽の新設工事費など二千百五十九万円。

□**教育費**

二億三千五百二十六万四千円で前年度よりわずかな増。人件費二千九百十一万四千円、育英奨学貸付金百四十七万円、小学校費は七千七百五十四万四千円でその主なものは人件費、物件費及び維持補修費など。教材備品や扶助費等五百六十五万九千円、柁城小の講堂改築については議会、学校当局及びPTAの皆さんの強い要望もございましたが、十分に検討を加えた結果財政事情もあり、いささか見送ることにして、講堂の危険箇所等につきましては早急に施工することといたしております。

中学校費五千三百七十四万五千円を計上、主なものは管理運営に要する経費や教育振興費、第二共同調理場の大型冷凍庫購入。幼稚園費二千二百三十三万五千円。社会教育費では前年度より四百九十四万一千円の増で二千九百六十二万一千円、保健体育費一千八百八十九万六千円。

□**災害復旧費**

五十年度災害の中、河川一件、道路七件分の復旧費八百三十六万八千円を計上。

□**公債費**

一億三千九百四十三万円を計上前年度より一六・五㌫の増。

《ステビア》

甘さは砂糖の三百倍

萩原の市来さん栽培

町内に、砂糖より三百倍も甘いという甘味植物、ステビアの栽培をしている人がおります。

この人は、町内反土萩原の市来仙さん（五八）で、四十九年にあるところからこのステビアの種子を少しもらってまいたもの。

今年は五㌃の土地に二万五千本が栽培されている。

手入れをする市来さん（手前）

一度植えれば、最初の年は葉を二回摘み取り、二年目からは三回摘み取ることができる。残ったクキからは再び葉が繁殖します。この葉を乾燥させ精製して白い粉末状の糖分がとれます。

ステビアの栽培が軌道にのれば「農家の副収入になると思います」と市来さんは話していました。

ステビアとは、キク科の植物で原産は南米パラグアイ、雑草のように強く繁殖おう盛、日本でもすでに各地の農業試験場で栽培され現在県下では、県の試験場と中種子の製糖工場が栽培している。

異動（四月一日付）

住民課記録係長（福祉課）釣野ミチ▽税務課徴収係長（福祉課）上枝照男▽福祉課（経済課）上村正和▽建設課（総務課）福森光枝▽住民課（福祉課）有川麗子▽福祉課（教育委員会）岩崎真智子

【新採】経済課・小野田健一▽福祉課・山下　滋▽税務課・市薗照良▽教育委員会・田口裕子

総務課付（税務課徴収係長）日高辰夫

話題あれこれ

ロードミラー13本を加治木町に設置

交通事故を少しでもなくそうとこのほど県農協連と加治木農協が共同で、十三本のロードミラーを町に寄贈しました。

ロードミラーは、農協や農協連が実施している、自動車損害賠償責任共済保険で五十年度分の資金を還元されたものです。

運転者の皆さん、今後もこの自賠責をご利用していただき、交通安全対策にご協力されますようお願いします。

空港道路をカンナの花でかざろう

三月七日、町青年団連絡協議会（吉村繁樹会長）では、県道＝空港線布越～玉利間の道路沿い約三キロに、カンナの球根三千株を植えました。

会員たちは、それぞれスコップや移植ゴテを持ちより穴をほる人たい肥を運ぶ人、植える人各グループにわかれて、株分けされた球根をていねいに植えていきました。

球根は駅前の花園からと、昨年植えられたものを株分けし、たい肥は会員たちの自宅から運ばれてきさもの。

昨年は竜門青年団で約一千本植えたが、ことしは町青協で計画、植える株間もせまく、夏から秋にかけて真紅な花が咲いて、空港へ行き交う人たちの目を楽しませてくれることでしょう。

中学卒業就職者11人研修会へ元気で出発

ことし町内の中学校を卒業して県内や県外の会社や事業所などに就職する生徒十一人（男一、女十）は、三月十一日から十三日まで行われた、県主催の壮行研修会に全員参加しました。

例年、就職者壮行会は各市町村単独で行われていましたが、今年は、県教育委員会が音頭をとり、県青少年研修センターで、県内の全就職者を合同で研修することになったものです。

研修の目的は、就職先で早く集団生活に慣れてもらおうということで行われたもの。

十一人の就職者は、その日、元気に吉田の研修センターへ出発していきました。わずか三日間の研修ですが、よい思出となることでしょう。

あさり貝を放流　須崎海岸など

錦海漁業協同組合（春山鉄翁組合長）では、三月八日須崎海岸と山野海岸に、あさり貝の稚貝千二百キロを放流。

この稚貝は熊本県から運ばれてきたもので、今年は稚貝が少なく須崎海岸に八百キロ、山野海岸に四百キロ放流されました。

昨年までは加治木漁協が行っていましたが、今年からは姶良漁協と加治木漁協が合併されて初めての放流となったもの。

貝ほりの解禁はすでに始まっておりますが、七月末日までの間、両海岸は親子づれやグループによる潮干狩り客で、にぎわうことでしょう。

須崎海岸は、本年に限り中止。山野海岸は旧暦の14日～19日、29日～3日。大人二百円、子供半額

城東チーム（団体）が優勝　町内卓球大会

三月七日、加治木中学校体育館で開かれた、町内卓球大会は約五十人が参加、団体、個人戦で行われました。

参加したのは一般個人二十人と中学生個人三十三人、団体七チームで日頃の練習の成果を競いました。個人はトーナメント、団体はリーグ戦により行われ、多くの男性にまじって、女性二人も出場、なかなかの球さばきを見せて声援を受けていました。

成績は次のとおりです。

【中学生個人】男子＝①榎薗　等②西端　誠③木下一浩▽女子＝①江口浩子②六反郁代③今西智恵美【40歳以上個人】①新名正治②上猶　茂③土橋寅男【一般個人】①奥　忠男②土橋寅男③奥村保義【一般団体】①城東②桃木野石材③新名チーム

町連合婦人会

三月の行事から

（婦人会だより）

▼婦人団体連絡会

五十年度、第三回目の連絡会を十日開き、次のような話し合いがなされました。

○各団体の現況と反省、問題点。

○この連絡会を有意義なものとするため、五十一年度は連絡会主催による催しを実現させるよう努力したい。

各団体の代表者の皆さんありがとうございました。

▼各校区婦人会総会

十四日、各校区婦人会総会が多数の会員の皆さんのご出席のもとで開かれ、つぎの通り五十一年度校区役員が選出されました。

柁城校区＝会長　川添邦子▽副会長　出木場ハナ

錦江校区＝会長　池田幸子▽副会長　岩下房江▽同　瀬戸口京子

永原校区＝会長　東　萩子▽副会長　外村正子

竜門校区＝会長　大村ツヤ子▽副会長　富秋かよ子

中野校区＝会長　上村正子▽副会長　坂元花子

旧役員の皆さんたいへんご苦労さまでした。新役員のみなさん、よろしくお願いいたします。

▼ふるさと学級閉講式

二十四日妙見温泉の折橋旅館で開催、学級生四十七人出席。

開講の時からご指導いただきました曽木前町長、汰木先生のお二人をお客様に迎えて、なごやかな閉講式となりました。

郷土料理研究家で、旅館の主人でもいらっしゃる久木田様の手作りの料理はすばらしいものでした。

春の香り豊かな白和えには、ワラビ、セリ、ノビルが和えてありうずらのもも焼き、フキの煮含め新タケノ子の炊き込みご飯、ニジマスのホイル焼など郷土の料理のよさを見なおしました。と同時に〝ふるさと学級〟の最後をかざる事ができました。

一年間みなさんありがとうございました。

▼町婦連総会

二十八日福祉センターで、町連合婦人会の総会が、町当局の皆さま方や先輩の皆さま方のご臨席のもとに開かれました。

昭和五十年度会務決算、五十一年度運営、予算等についての審議と役員の改選を行いました。

新役員は次の方々です。

会長＝児玉周子、副会長＝中摩多美子、同＝久保田照子

お礼のことば

昭和五十年度加治木町連合婦人会活動も、三月三十一日をもって無事終了いたしました。

かえりみますと、四十九年四月にこの町婦連会長という大役をお受けし、生まれて始めての婦人会活動にどうしてよいのやら、とまどっておりました私でしたが、おかげをもちまして大過なくこの二年間を過させていただきました。

私ごとき者が、ここまで歩いて参れましたのは、常任委員の皆さまを始め、部落の役員、会員の皆さま、先輩の皆さま方のご協力はもとより、町役場当局や関係団体のみなさま方、そして町内のたくさんの方々の暖かいご指導ご鞭撻の賜と存じ、心からお礼申し上げます。

この二年間は、私の人生の中で最もすばらしく、またとない二年間でございました。それは、たくさんのすばらしいお友達にめぐり合えた事、婦人会活動の中でなければ味わう事の出来ない人の心の暖かさを得た事でした。

その皆さまのご指導に対し、無力な私は何のお返えしをする事もできず、皆さま方にご迷惑をおかけした事をおわび申し上げます。

本当に永い間ありがとうございました。おわびとお礼を申し上げさらに婦人会の今後のご発展をお祈り申し上げます。

会長　堤　治子

伊勢神社を見学する親子

地区内のことは自分の足で知ろう

錦江第三地区史跡めぐり

錦江第三地区（吉村次男館長）は、三月二十日地区内にある十七か所の史跡めぐりと、ことし小・中学校卒業生による記念植樹を行い一日を楽しく過しました。

親子が共に地区内の史跡を知り由来を勉強し、健康を増進しようと行われたものです。

当日は親子六十人が、それぞれ弁とうやおやつを持って参加、全長六キロにおよぶ道のりを歩きながら、吉村館長の説明を熱心にききました。

また、同地区の二つの神社（隈姫神社・伊勢神社）には、小・中学卒業生により十五本の桜の木が記念樹として植えられた。子ども達にとっては、ふる里のよい思い出の記念となることでしょう。

この史跡めぐりに参加したあるお母さんは「今まで木田に住んでいて、こんなにたくさんの史跡があり、また話しは聞いていたが場所は知らなかった。ほんとうによい勉強をしました」と話していました。

竜門句会

柴漬や杉の秀映す水ありて　中山　待香

剪定の枝捨てやらで鉢に挿す　伊丹　司朧

一輪に心足る日や梅日和　井之上透山

春時雨苗木攫める立話　鶴田　耕

寒もどり苦吟果てなし床の中　田代　俊一

骨太の十指悴かみ紙を漉く　横山　江南

退院の家路急げば沈丁花　曽木　柳田

アッ咲いた梅も生きてる生きて居た　宮脇　国吉

啓蟄や飼い鶯のまだ鳴かぬ　恒吉　斗南

花鞍に鈴鳴りひびき馬の汗　松永　愛子

くれなひの島をとりまく春あかり　林　玄洋

◆農業委員会だより◆

いまこそ農業を見直そう

最近、国際的にも食糧の需給について考えられつつあります。

今後の農林行政の推進に当っては、国民が食糧安定供給の確保を基本とする総合的な食糧政策を打出し、国内農産物の生産体制を整備し、自給力向上の政策が重点とされ農地の見直しがさけばれております。

町でも優良農地を見直し、自立経営農家の育成につとめるため、農家の皆さんと一体となり、今後の農業を向上させる必要があります。

■農地等の売買は農業委員会を通じてやりましょう。

農地等の売買は個人間の取引等でなく、農業委員会のあっせん事業を利用していただき、本町の農地は本町の規模拡大農家に是非とも譲渡していただく必要があると思います。

■利用者には優遇措置があります

この事業を利用いたしますと次のような優遇措置があります、譲渡所得税の特別控除は五百万円、登録免許税千分の五十が千分の六に軽減されます。また農地取得資金のあっせんは、個人で八百万円まで借りられ、あっせん手数料は無料となっておりますので、農業委員か農業委員会事務局に問合せください。

見直される農地（モデル）

■農業委員会で処理された申請書関係は次のとおりです。

①農地法による申請許可関係の処理状況（表1）

②農地法第4条申請関係の処理状況（表2）

（農地法第4条とは、自己の農地を農地以外に転用すること）

③農地法第5条申請関係の処理状況（表3）

（農地法第5条とは、他人の農地を譲り受けて農地以外に転用すること）

④4条及び5条用途別転用申請実績（表4）

⑤農地等の利用関係紛争処理件数　三〇件。

⑥農地保有合理化の事業等によるあっせん件数（表5）

（表1）　農地法による申請許可の処理状況年度別比較表

区分＼年度	総数	許可数	不許可	農業委員会許可	知事許可	外得町取	田	畑	計
	件	件	件	件	件	件	アール	アール	アール
48	283	283	0	248	35	34	1,726	1,829	3,555
49	226	226	0	131	97	7	1,336	4,009	5,345
50	150	150	0	113	37	25	968	3,452	4,420

（注）50年度分は1月から12月まで

（表2）　農地法第4条申請関係年度別比較

区分＼年度	処理件数			許可面積		
	総数	許可	不許可	田	畑	計
	件	件	件	アール	アール	アール
48	69	69	0	569	72	641
49	76	76	0	575	412	987
50	54	54	0	374	209	583

（注）50年度分は1月から12月まで

（表3）　農地法第5条申請関係年度別比較

区分＼年度	処理件数			許可面積		
	総数	許可	不許可	田	畑	計
	件	件	件	アール	アール	アール
48	189	189	0	907	231	1,138
49	101	101	0	428	215	643
50	103	103	0	297	158	455

（注）50年度分は1月から12月まで

（表4）　用途別の転用実績

区分＼用途別	法第4条				法第5条				合計			
	件数	面積			件数	面積			件数	面積		
		田	畑	計		田	畑	計		田	畑	計
	件	アール	アール	アール	件	アール	アール	アール	件	アール	アール	アール
住宅用地	16	38	39	77	78	212	91	303	94	250	130	380
建設業	1	7	0	7	2	13	0	13	3	20	0	20
農林漁業用	1	0	4	4	4	2	21	23	5	2	25	27
商業・サービス業	1	13	0	13	9	50	2	52	10	63	2	65
官公署・病院	0	0	0	0	1	0	6	6	1	0	6	6
植林	34	315	166	481	5	18	37	55	39	333	203	536
道路	1	1	0	1	4	2	1	3	5	3	1	4
合計	54	374	209	583	103	297	158	455	157	671	367	1038
知事許可外									公道	109	79	188

（注）50年度分は1月から12月まで

（表5）　農地保有合理化あっせん数

区分＼地区名	実績年度	あっせん筆数	あっせん面積	関係人員		備考
				売渡	買受	
	年 月	筆	アール			
日木山楠原台地	49．10	186	3,005	79名	県開発公社	買取り 161,106千円
〃	50．8	28	205	1名	〃	買取り 10,995千円
〃	50．11	106	1,925	貸人開発公社	借人 24名	一時使用賃借

新風景入り通信日付印
四月一日から使用開始

加治木郵便局から

かねて、加治木郵便局では風景入り通信日付印をつくり、全国の郵趣家のご要望にこたえてまいりましたが、このたび、デザインを新しくして四月一日から使用することになりました。

新風景入り通信日付印は「蔵王岳、黒川海岸からの桜島遠望、名物くも合戦と竜門司焼の黒じょか」をデザインしたものです。

また、タトウ（切手貼付記念押印台紙＝20円切手二枚貼付）は一部五十円で加治木郵趣会が発行しています。

町外にお住いのお知りあいの方へ手紙を出されるときは、この風景入り通信日付印を押して、加治木の香りをお届けなされたらいかが……

ご希望の方は郵便局窓口へお申し出ください。皆様のご利用をお待ちしております。

〃〃〃〃〃〃
香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万五千六百五十四円
吉原　前田　信良（母チエ）
五千円
東諏訪　南　己徳（妻チカ）
一万円
竹下　松永　モヨ（夫　猛）
二万円
須崎　杉田　朗（母ツナ）
一万五千円
菖蒲谷　新　トメ（夫退蔵）
一万円
徳永　奈良　満男（母チヨマツ）
一万円
毛上　曲田　イ子（夫篤雄）
一万円
西諏訪　松田フヂエ（夫　猛）
一万円
布越　今村　マツ（夫敬二）
一万円
岩原東　宮田　一男（父藤次）
三万円
諏訪町　恒吉　学（父　胖）
一万円
港町　入部　力（母松田夕子）

■三月二十日までのご寄付を掲載しました。

〃〃〃〃〃〃
一般特志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円
柳田　山口　節
二千円
江湖　岩下千香子

＝町育英奨学資金へ＝

三千円
柁城校区婦人会　出木場ハナ
三千円
錦江校区婦人会　蔵満　月子

回顧録 ―④―
学生時代

曽木　隆輝

大正十四年の夏、私は京都にいたわけだ。花やかな祇園祭も見た夜の加茂川の夕涼みなんて素晴しかった。金閣、銀閣寺その他、名所旧蹟も私の心を動かすにあまりがあった。

でも私は、去年失敗した東大への夢は棄て得なかった。誰れにも相談せず私は一学期きりで京都へは戻らぬつもりで、郷里に引きあげた。

八人の子供をかかえ、これとて定収のない父は、私の態度には困ったというより憤慨したに相違ない。でも、顔に現わさず「十分準備しろ」とだけいってくれた。

さて現在のように大学受験の予備校もないので、またもとの七高に、聴講生で入れてくれぬかと相談した。有り難いことに、私のために三年の文科の甲と理科の乙のクラスに机をおいてくれて、必要な授業を勝手に受けられるよう手配してもらった。

同様な人がいまひとりいた。それは加中の同級生で、京大医学部入試に失敗した川崎祐宣君だった現在彼は岡山で病院経営のほか、有名な川崎医大を創設し、特別老人ホーム、看護学校その他をもち大活躍をしている。

とにかく、私も月謝なしで卒業した母校で再教育を受けることになったわけだ。今度こそは必死だった。外見のんきでも、家庭の状況を見ても弟妹が次々に上級の学校へ進んでくる。弟二人が病死する。農業は思ったような収入はない。門司あたりまで出したみかんの代金は、引っかけられて回収不能でどうにもならない。父とわずかばかりの田圃を売っては生活に充てている。

加治木駅近くにタバコや果物店を出した。これも人まかせで駄目借金の利子の催促に追われる父の姿を見て私もじっとして居られぬ気がした。

翌年三月の東大入試は、幸いに合格、東京まで三等汽車賃は学割で九円足らず、宿賃月十五円、電車賃四、五円その他日々の仕送りは三十円ぐらいですんだと思うが親には迷惑をかけた。

元参議の佐多忠隆君など特別勉強した組だった。福田副総理や美濃部知事など同じころだったが、田舎出の私は、東京大震災後のバラック教室で、五百人あまりもゴッタ返えす教室の隅で、雑誌など読んで過した。

当時渋谷には加治木出身者がたくさん居られた。野田昇平、岩崎侃、市来尚治、市来政経、内野長治氏ら始め、鹿児島弁がまかり通る所だった。私も一時市来政経さん宅に寄宿した。あとで原宿の島津邸にお世話になった。

四月の在宅医

4日　岩崎　医院②二三一五
11日　大川医院　②二〇三二
18日　神田橋医院②二〇二四
25日　上妻医院　②二四二一
29日　平山医院　②二四六八

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください